

# ICTで 授業 をDX!

学年 中学校 1年 教科 数学 など

## ICTの活用を通して、授業の可能性を広げる。

使用するアプリケーション等

- ・ Google Classroom
- ・ Google Jamboard
- ・ ラインズ eライブラリ

単元・題材 方程式

本時の目標 過不足に関する問題を、方程式を利用して解決することができる。

### ICTを活用することで できること

- ・ ラインズeライブラリを活用することで、一人一人に適した学習を行うことができ、家庭学習の充実を図ることもできる。
- ・ Google Jamboardを使用することでお互いの考えや意見を共有し、伝え合うことで考えを深める授業が展開できる。
- ・ アンケートの集計や授業の振り返りをGoogle formsを使用することで容易に確認することができる。
- ・ 連絡事項、資料の提示、ワークシートの提出などGoogle Classroomを使用することで業務の軽減が図れる。

## DX前 (ICTを使っていなかった頃は・・・)

### 1 導入

- ①既習内容を復習する。
  - 小テストの紙を配り、自分で採点を行う。

### 2 展開

- ①既習内容を復習する。

過不足に関する問題を、方程式を利用して解決することができる。

- ②課題をつかみ、解決の見通しを立てる。

折り紙を何人かの子供に配ります。1人に4枚ずつ配ると9枚足りません。また、1人に3枚ずつ配ると15枚余ります。子供の人数と折り紙の枚数を求めよう。

- ③個人で考える

- つまづいている生徒にはヒントカードを配布し解き方の手順を明示する。

- ④グループ活動で交流する。

- ワークシート、ホワイトボードを使用し、お互いに説明し合う。

### 3 まとめ

- ① 確認問題を解く。

ワークシートを提出する。

- ②振り返り

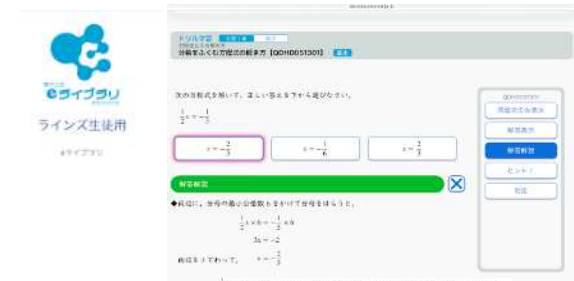
ノートに本時の振り返りを記入する。

DX!

## DX後 (赤字はICT活用場面)

### 1 導入

- ①既習内容を復習する。
  - ラインズ eライブラリで自分で学習する既習内容を選択し、実施する。
  - 方程式の解き方につまづきがある生徒には事前に学習内容を指示する。



### 2 展開

- ①本時の目標

過不足に関する問題を、方程式を利用して解決することができる。

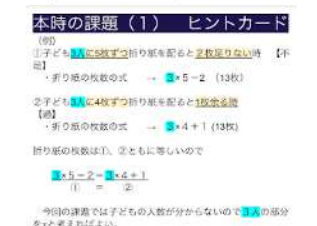
- ②課題をつかみ、解決の見通しを立てる。

折り紙を何人かの子供に配ります。1人に4枚ずつ配ると9枚足りません。また、1人に3枚ずつ配ると15枚余ります。子供の人数と折り紙の枚数を求めよう。



- ③個人で考える

- Google Classroomにヒントカードを配布する。つまづいている生徒はヒントカードを活用し、解き方の手順を確認する。



- ④グループ活動で交流する。

- Google Jamboardを活用して説明する。Google Jamboardにワークシートの画像を貼りつける。他の生徒の考えを見てもよいことを伝える。



### 3 まとめ

- ① 確認問題を解く。

同じ値段のカーネーションを何本か買うことにしました。5本買うには、持っていた金額では150円足りません。そこで、4本買うことにしたら80円余りました。カーネーション1本の値段と持っていた金額を求めなさい。

- Google Classroomにワークシートを提出させる。
- ②本日の授業の振り返りを行う。
  - Google formsを使用し授業の振り返りを行う。



### 授業者から (成果・課題・留意点)

- ・ ラインズeライブラリを使用することで一人一人の課題に適した学習を行うことができるようになった。
- ・ Google Jamboardを活用することで、お互いが伝え合い考えを深められる授業づくりの幅が広がった。
- ・ 授業の振り返りをGoogle formsで行うことで、一人一人の学習状況を把握しやすくなった。
- ・ 友達の考えを簡単に確認できるので、自分で考えを放棄してしまう生徒もでてしまうので、一人一人の学習状況を確認して、個別の声掛けや支援をする必要がある。